

令和4年度 第6回狛江市基本計画推進委員会会議録

- 1 日 時 令和4年9月6日（火）午後7時～午後8時54分
- 2 場 所 狛江市防災センター3階 302・303会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 上田 英司
委 員 尾花 尚弥 委 員 牧瀬 稔
委 員 小尾 将彦 委 員 落合 香代子
委 員 高橋 良典
事務局 富田政策室長 中村企画調整担当主査
大久保企画調整担当主事 猪野企画調整担当主事
- 4 欠席者 委 員 猪熊 茂男 委 員 マクリーン 由美
委 員 八峠 恵子

5 議 事

1. 提言書について

—事務局から説明—

①評価対象施策A「歴史への理解と継承」について

【委員】

「1 情報発信に関して」は、学校関係者だけでなく広く市民に周知するよう提言に反映したい。

【事務局】

教育委員会の作成物について、特定した世代ではなく対象範囲を広くするような提言内容に修正する。

②評価対象施策B「市内消費の拡大及び商業の活性化」について

【委員】

「1 情報発信に関して」は、環境を支援するとなっているが、環境整備を支援するとした方がよい。また、「2 優位性の活用に関して」での多摩川に関する記述について、多摩川がどのような役割を果たしているが追記したほうが良い。

【事務局】

修正及び追記する。

【委員】

「3 にぎわいの創出に関して」において、単発の支援とあるが、長期的な視点に合わせて短期的とした方が良い。

【事務局】

修正する。

【委員】

わっこ等の広報誌で周知するのも良いのではないか。

【事務局】

様々な媒体を活用した情報発信という旨に修正する。

③評価対象施策C「地域で支え合う子ども・子育て支援」について

【委員】

「1 小・中学生に対する取組に関して」において、「子どもの成長に連れ、支援のニーズが減少する」と記述があるが、数の減少と捉えるのではなく、支援ニーズが変化することを反映してほしい。「2 子育て関連団体に対する支援に関して」において、団体に対しての支援について検討を進めてほしいとあるが、強化してほしいという積極的な記述にすることは可能か。

【事務局】

修正する。

【委員】

アウトカム指標で測るだけでなく、相談に関して内容の分析が必要になってくる。評価だけではなく、分析した結果を事業内容に反映することでよりよい取組にしていくことが肝要ではないか。

④評価対象施策D「地域で支え合う仕組みづくり」について

【委員】

「3 民間企業等からの相談に関して」で、「行政と連携・協働しながら」という記述があるが、主体が行政であるため修正してほしい。

【事務局】

民間企業と連携し、と修正する。

【委員】

「1 重層的なセーフティネットに関して」において、「支援の取りこぼしがないようなセーフティネットの確保」という表現は消極的な印象がある。誰一人取り残さないセーフティネットとした方が良いのでは。

【事務局】

そのように修正する。

⑤評価対象施策AからDまで全体について

【委員長】

2ページ内部評価の記述について、行政内部の視点とあるが、行政自ら評価する内部評価、とした方が良いのでは。

【委員長】

6ページ「教育委員会による第三者評価」とあるが、これは市民も入っているのか。市民を含むのであれば、追記したほうがわかりやすいのでは。また、8ページ「社会情勢等を踏まえた施策の選定」について、世間の関心事項等については、市民の関心事項等とする方が良いのでは。

【事務局】

指摘のとおり3点修正する。

⑥SDGsに対する評価について

—事務局から説明—

【委員】

「1 SDGsの指標（地方創生SDGsローカル指標）からの視点」について、各事業の批評に結び付けるとあるが、事業をSDGsの観点から見てより良いものにするという意味であれば、妥当性の検証や事業の改善に結び付ける等の表現が適しているのではないか。

【事務局】

検討する。

【委員】

「基礎自治体を実施する取組の目標とは直接関連付けることは難しいものがあるが」という表現は消極的な印象であるので、削除してもよいのでは。

【事務局】

削除する。

【委員】

「2 SDGsの17ゴールに係る分野からの視点」において、SDGsの場合は、目標を達成するために事業をどうするか、というバックキャストの視点が重視されているので、提言に反映した上で、後半の文章を整理してはどうか。

【事務局】

文言を整理し、バックキャストについて説明文を追記する。

【委員長】

「2 SDGsの17ゴールに係る分野からの視点」において、「施策担当部署に囚われることなく」という表現は不要ではないか。

【事務局】

削除する。

⑦提言書全体について

【委員長】

23 ページ委員名簿に市民と記載されているが、条例等に合わせて公募市民とした方がよい。また、22 ページ「6.おわりに」における「従来の行政サービスの提供手法」は、民間委託等も増えていることから公共サービスが適切かと思うがいかがか。

【委員】

評価対象施策に地域で支えあうとあるように、行政だけの取組ではない事業も増えているため、公共サービスとした方がよいのでは。

【事務局】

修正する。

2. その他

－議題1については、意見等の反映を事務局にて検討し、確定については委員長一任とさせていただく。－

－令和4年度の本委員会の活動は終了とし、令和5年3月を目途に、提言書を受けての各課の対応について報告させていただく。－